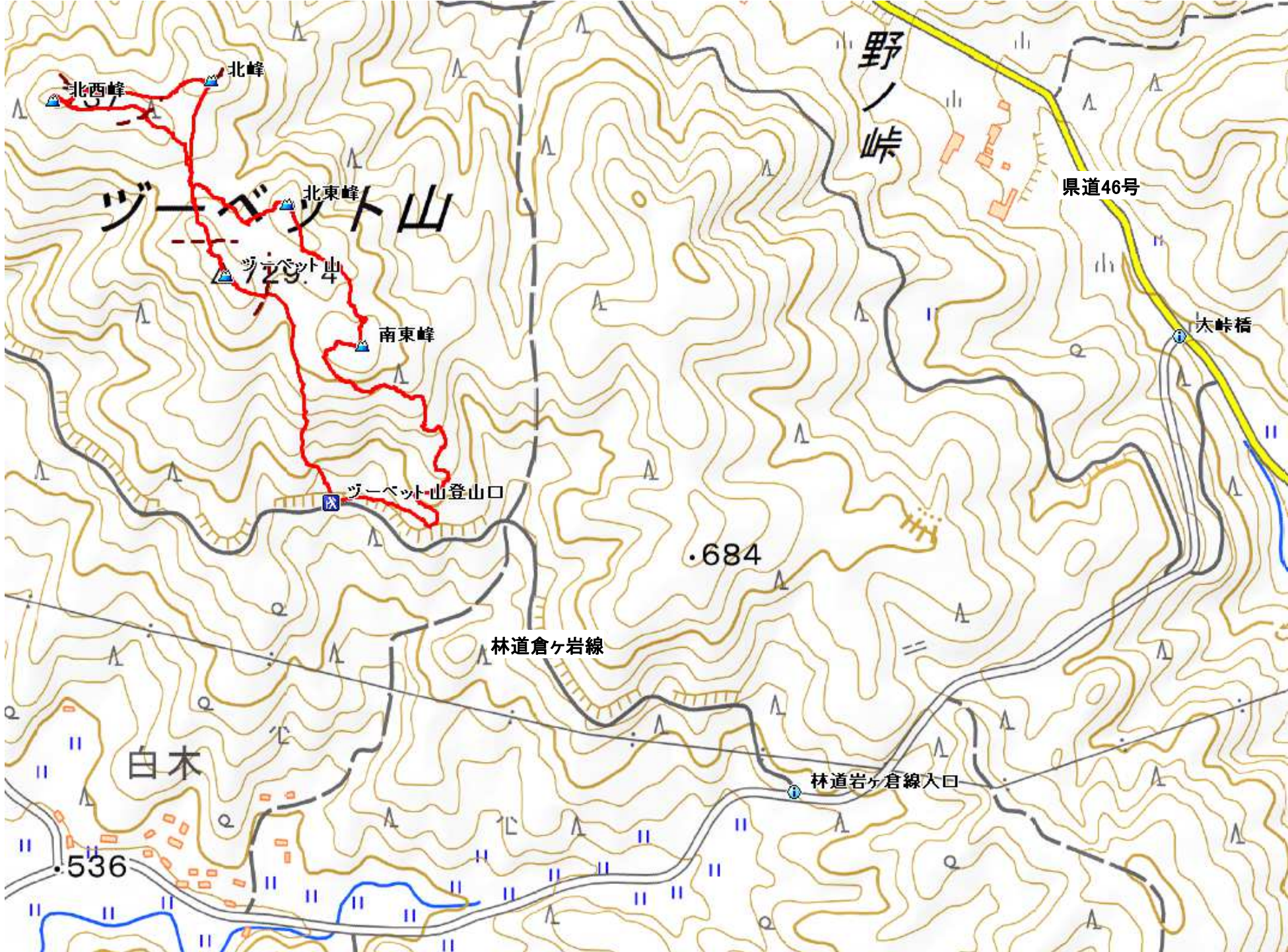


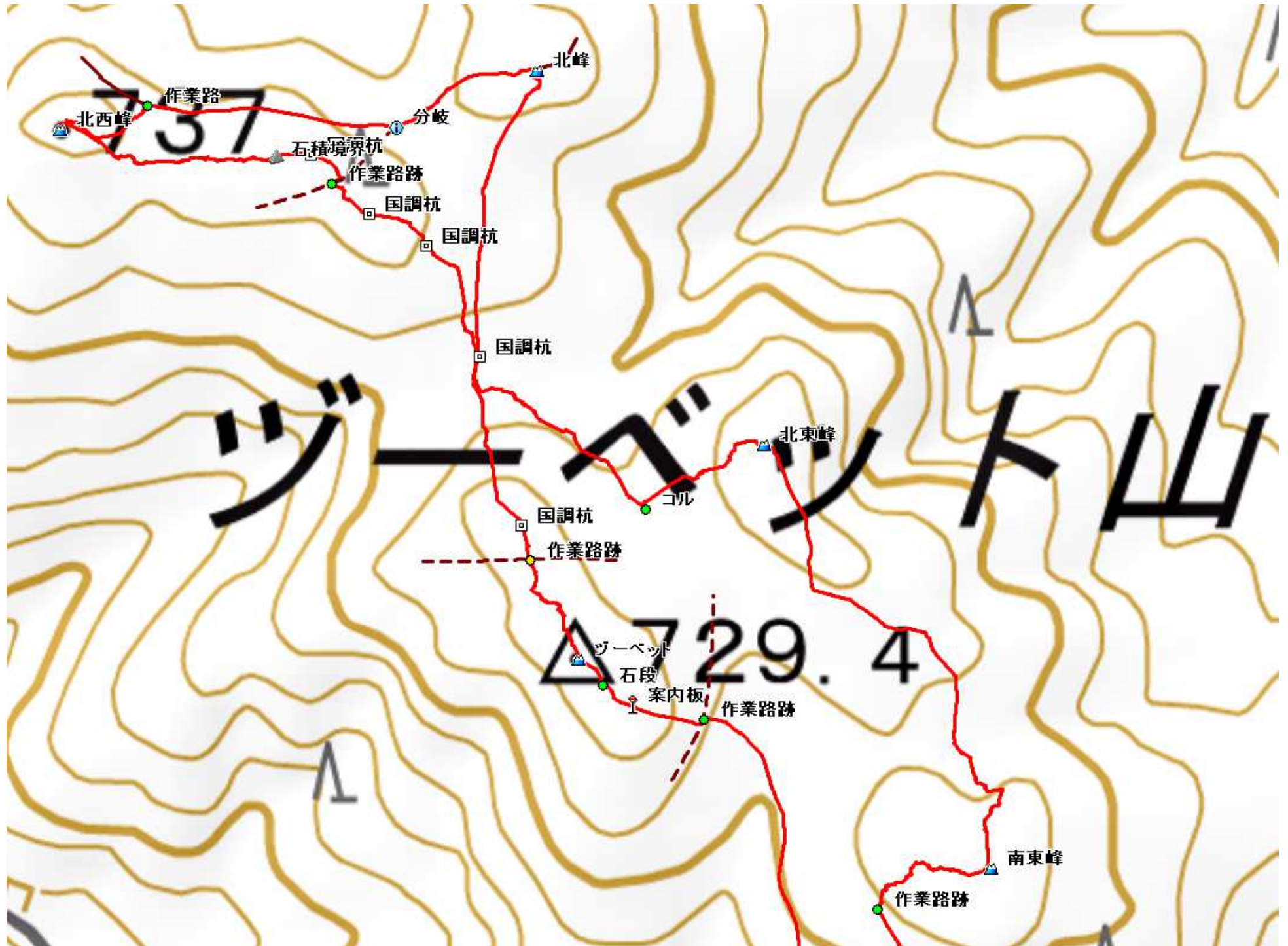
240213 ツーベット山(729m)

2.2 km 2時間18分 (休憩・撮影時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです

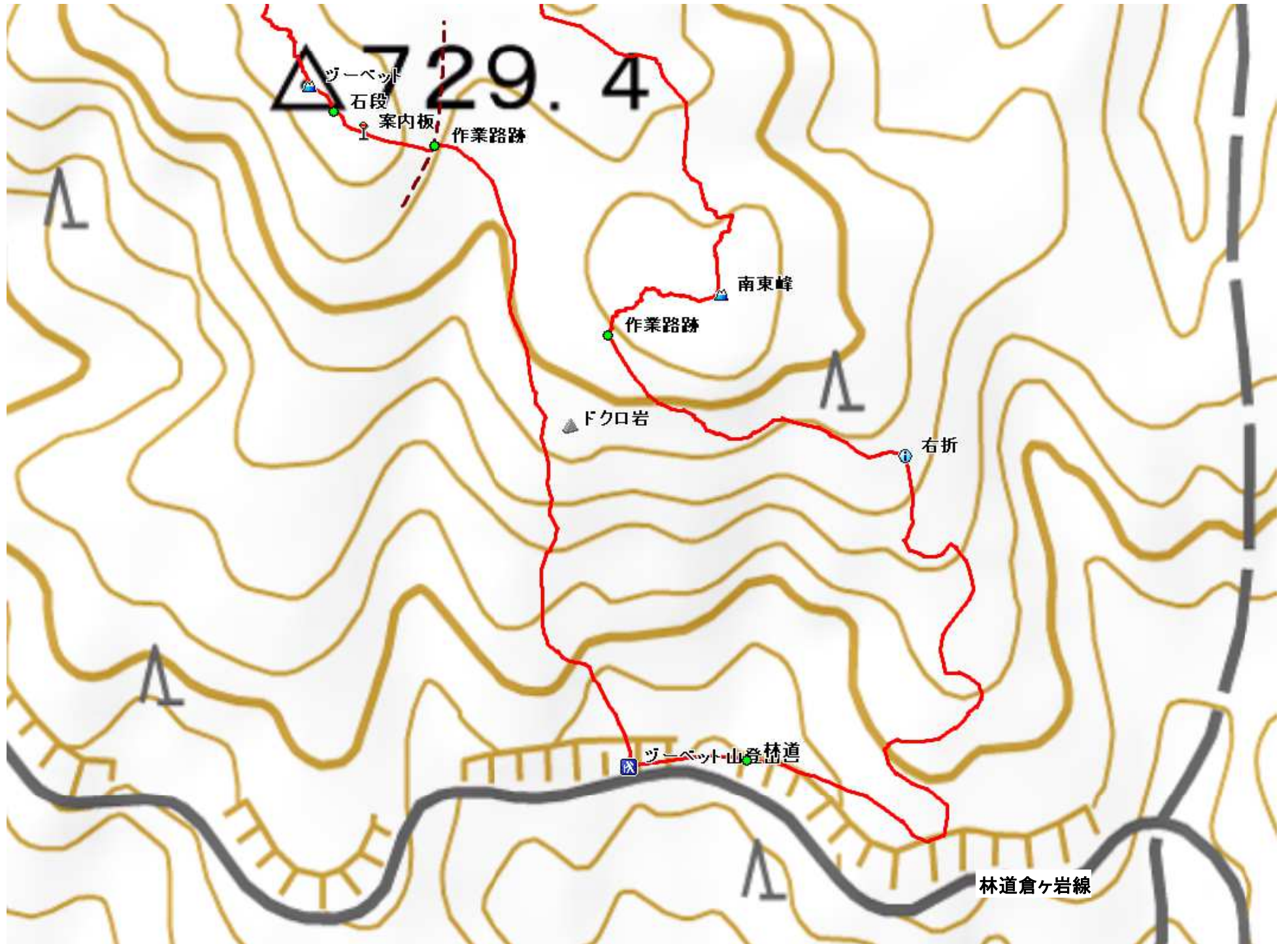


- ツェベット山登山口
- ↓ 0:20
- ツェベット山(729m)
- ↓ 0:45
- 北西峰(737m)
- ↓ 0:08
- 北峰(736m)
- ↓ 0:20
- 北東峰(737m)
- ↓ 0:15
- 南東峰(728m)
- ↓ 0:30
- ツェベット山登山口

240213 ツーベット山(729m) 詳細図 上



240213 ツーベツト山(729m) 詳細図 下



# ツベット山(729m)

2024.02.13(火)晴れ

ツベット山登山口→ツベット山(729m)→北西峰(737m)→北峰(736m)→北東峰(737m)→南東峰(728m)  
→ツベット山登山口



県道46号大峠橋から白木集落へ900m程走り、北の林道倉ヶ岩線に入り900m程走ると登山口案内板を見て路肩に駐車する。



朽ちかけた丸太階段に取付く。



山名の由来が書いてある。



植林斜面を北へ上って行く。



右に見づらくなったドクロ岩を見る。



今回よく見かけたプラ杭。



北北西へ向かい、弱い沢地形を横断する。



北西の斜面へ向かう。



作業路跡に出会い、北の様子を撮る。



作業路跡を横断して西北西へ向かう。



西斜面に露岩が現れた。



三角点の案内板を見る。



小枝を分けて行く。



切欠きのある石段らしきものを見る。





ゾーベット山(729m)に到着。



明治30年選定の三等三角点浦山うらやま(729.43m)が設置されている。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



寒暖計は5°Cを示していた。

ゾーベット山を囲む700m等高線内に4つの独立した領域があり、一つは737mの標高点である。

これらのピークを検証するため、北西へ向かう。ピーク名(仮称)はゾーベット山からの方位とした。

標高は、737m標高点を基準としてGPSで得られた標高値を補正して表示した。

**初心者は、此处で引き返してください。**



北西の灌木帯へ向かう。



雑木が見え、北へ進む。



東西に通る作業路跡に出会う。



西の様子。



東の様子。弱い沢筋先の作業路跡に接続か？



横断して北北西へ向かう。



国調杭を見る。



北北西へ緩く下って行く。



国調杭を見る。



国調杭の上空。



北北西から北西へと斜面を上って行く。



国調杭を見る。



鈍頂の尾根筋に先行者の赤テープを見る。



傍にプラ杭を見る。



鈍頂尾根を西北西へ進む。



国調杭を見る。



北西へ向かう。



作業路跡に出会い、北東を撮る。



雑木尾根を西へ向かう。



国調杭を見る。



先行者の赤テープを見て西へ向かう。



石積境界を見る。



その先でプラ杭を見る。



西の斜面へ向かう。



標高点737の北西峰(737m)に到着。



三十杭を山名柱とする。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



ヒノキの幹に先行者が書いた山名テープ。



一息ついて、次へ向かう。



北東斜面下の作業路へ下る。



作業路に降り立つ。



西と東の様子で現役の作業路のようで、東へ向かう。



110m程進むと分岐に出会い、南西に作業路跡を見る。



歩いて来た作業路を振り返る。



北東へ向かう。



前方が峠となり下って行くので、傍の雑木を北峰(736m)とした。



南東へ向かうとブラ杭を見た。



南南西へ雑木の緩斜面を下って行く。



下って往路の国調杭に出会い、その先から杣道を東へ向かう。



杣道を南東へ向かう。



前方に弱いコルが見え、北東へ向かう。



北東へ斜面を上って行くとピーク地形が見えた。



北東峰(737m)に到着。



先行者の赤テープを見る。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



南東側にプラ杭を見る。



赤テープを辿って南南東へ緩く下って行く。



南東へ向きを変えた後、南南東へ下って行く。



前方の北斜面へ向かう。



南東へ斜面を上って行く。



南東峰(728m)に到着。







周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



西北西へ緩く下って行く。



作業路跡に出会い、小枝を分けながら南東へ向かう。



東南東へ下って行く。



灌木を抜け右折する。



南へ向かう。



道なりに下り、林道に降り立つ。



振り返る。



50m先の登山口に帰着いた。



ツルシキミ 蕾



ツルシキミ 実